

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 平成23年12月12日(月)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時55分
- 4 閉会時刻 午前11時42分(休憩5分)
- 5 出席者 委員長 山崎恵司 副委員長 山本行男
委員 内藤澄夫 委員 加藤一司
委員 鈴木正治 委員 栗原通泰
委員 山崎恒男 委員 榛葉正樹
(当局側) 副市長、都市建設部長、環境経済部長、所管課長ほか
(事務局) 議事調査係 平尾泉美
- 6 審査事項
- ・ 議案第103号 平成23年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第2款 総務費(第1項32目)
第4款 衛生費(第2項・第3項)
第6款 農林水産業費
第7款 商工費
第8款 土木費
第11款 災害復旧費
 - ・ 議案第107号 平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
 - ・ 議案第108号 平成23年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について
 - ・ 議案第109号 平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について
 - ・ 議案第116号 掛川市都市公園条例の一部改正について
 - ・ 議案第121号 公の施設の指定管理者の指定について(掛川市森の都ならこの里)
 - ・ 議案第122号 公の施設の指定管理者の指定について(遠州南部とうもんの里総合案内所)
 - ・ 議案第123号 公の施設の指定管理者の指定について(掛川市勤労者福祉会館)
 - ・ 議案第124号 公の施設の指定管理者の指定について(掛川市自転車等駐車場)
 - ・ 議案第125号 公の施設の指定管理者の指定について(掛川市駅周辺駐車場)
 - ・ 議案第126号 公の施設の指定管理者の指定について(掛川大手門駐車場)
 - ・ 陳情第2号 T P P交渉参加反対の意見書採択に関する要請
 - ・ 陳情第3号 T P P交渉参加反対の意見書採択に関する要請
 - ・ 閉会中継続調査申し出事項について 12項目
- 8 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成23年12月12日

市議会議長 竹 嶋 善 彦 様

環境産業委員会委員長 山 崎 恵 司

7 会議の概要

平成23年12月12日（月）午前9時55分から、第1委員会室において8名の委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[9:58～11:04]

①議案第103号 平成23年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第2款 総務費（第1項32目）

第4款 衛生費（第2項・第3項）

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費

第11款 災害復旧費

[内山経済建設部長、概要説明及び人件費に係る説明 10:00～10:01]

[質疑 10:01～10:01]

第2款 総務費（第1項32目）

第8款 土木費

[都市政策課、説明 10:01～10:03]

[質疑 10:03～10:03]

- 山崎恵司委員長
都市政策課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

第11款 災害復旧費

[道路河川課、説明 10:04～10:18]

[質疑 10:18～10:37]

- 山崎恵司委員長
道路河川課の説明に対する質疑をお願いする。
- 榛葉正樹委員
道路新設改良事業費の3路線は、当初の予定よりどれだけの遅れがあるのか。
- 山崎道路河川課長
市道桜木中横断線は、32年の完了予定ですが36年くらいの完了と見込んでいます。
- 佐藤道路河川課建設係長
市道郡道坂線については、平成27年完了を予定しています。
市道三井幹線については、平成32年を完了目標としています。
- 栗原通泰委員
国安川の浸水対策の内容は、かさ上げということだがどういう内容で対策をとっているのか。
- 山崎道路河川課長
国安地区については、菊川本川に対して菊川橋が150号線にあるが、その上流に国安門と

いう水路のはけ口がある。本川の水位が上がってくると、堤内の水が排水できなくなってその付近が浸水してしまうという状況である。現況調査では、南側の高松川方向にも水路として通じているので、その一部の水を直接高松川水門方向に逃がすことができるか、できない場合強制的にポンプで下流側へ送ることができるかに主眼を置いて調査をしたいと考えている。

また、竜今寺川については、掛川市の管理する水路が100メートルある。これは、竜今寺川に排水されている。砂の堆積等で本川の水位が上がっており、これもポンプで排水する等に着眼点をおいて調査をしたいと考えている。

○内藤澄夫委員 台風時の道路の倒木等に予算を付けているとの説明であったが、住民の台風による倒木等の片付けで事故があった時の市の考え方はどうか。

●山崎道路河川課長 道路上の作業等のボランティアの補償契約は確保している。作業としては、市が業者に依頼したものもあるし、地元の人が作業をしていただいたものもある。2次災害のない、安全確保ができる範囲の支援を求めたいと考えている。

○内藤澄夫委員 市の職員は、台風の中でも率先して動いてほしい。災害時の行動についてのマニュアルをつくるべき。

●内山都市建設部長

自然災害時の市民や行政の対応、行動ということであるが、市は災害協定を結んでいる地域の土木業者へは現地での行動を指示した。地域の皆さんのとるべき行動がわかりにくいというご指摘であるが、議員ご指摘のマニュアルを措置の方法等作成して区長会理事会に示し、役所だけではできないので地域の方にも理解を求めていきたい。

○山崎恒男委員

災害には強くなったと声を聴く。昔は、公共災害も多く出た。公共災害に該当となるものはなかったのか。

●山崎道路河川課長

土木施設の災害は、発生しませんでした。

○山崎恒男委員

公共災害採択の事業費はどれくらいか。査定額、規準はあるか。

●山崎道路河川課長

事業費で60万円です。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

〔都市整備課、説明 10:37~10:44〕

〔質 疑 10:44~10:44〕

○山崎恵司委員長

都市整備課の説明に対する質疑をお願いします。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費（第2項・第3項）

〔環境政策課、説明 10:45~10:48〕

〔質 疑 10:48~10:50〕

○山崎恵司委員長

環境政策課の説明に対する質疑をお願いします。

○栗原通泰委員

葛川で牛を飼う時の環境問題への判断はどういう判断か

●榛村環境政策課長

化製場法という法律があり牛・豚・やぎを処理する場を化製場と言っている。住宅が密集している地域に指定区域を定める。牛等を1頭以上飼う時は、申請が必要であり、農林課と協議し、許可したものである。匂いのこともあるので、注意をするということに認めたものである。

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費（第3項）

第6款 農林水産業費

第8款 土木費

〔下水整備課、説明 10:50～10:53〕

〔質疑 10:53～10:53〕

- 山崎恵司委員長
下水整備課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

第6款 農林水産業費

第11款 災害復旧費

〔農林課、説明 10:53～11:01〕

〔質疑 11:01～11:10〕

- 山崎恵司委員長
農林課の説明に対する質疑をお願いする。

○鈴木正治委員

台風12号・15号に伴う災害復旧費の合計はいくらになるか。

●松本農林課長

農林課所管部分で、5,335万3千円、補助金1170万、4165.3万円である。

○山崎恒男委員

70頁の耕作放棄地、他人が耕作をするときにこの事業が対象ということでよいか。

水田などの暗渠排水を実施して、畑地に転換することで高度化が図れることがあると思うが、このごろ、茶畑の荒廃地が目につくが水田と畑地とどちらが多いか。74頁、栗本の森林の倒木の木は使いものにならないか。

●松本農林課長

耕作放棄地はほとんど畑である。排水路は畑に隣接しているU字溝で、簡易な排水路整備が対象となっている。そういう簡易な排水路の整備延長が466メートルあるということです。耕作放棄地の関係は、第3者が借りてやる場合に、補助金がでる。

○榛村農林課主幹

折れたものは使えない。処分となる。倒れたものも見た目にはわからないが、中が傷んでいるということで、用材として使えないと森林組合から聞いている。今回全てが処分できず、危険が有る倒木だけ処分し、費用の面から現地に置いておく倒木もある。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第6款 農林水産業費

〔新産業推進課、説明 11:00～11:03〕

〔質疑 11:03～11:03〕

○山崎恵司委員長

新産業推進課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第7款 商工費

〔商業労政観光課、説明 11:13～11:14〕

〔質 疑 11:14～11:14〕

○山崎恵司委員長

商業労政観光課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔休憩 11:15～11:20〕

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第103号については、全会一致にて原案とおりの可決

[11:22～11:40]

②議案第107号 平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

〔下水整備課、説明 11:22～11:31〕

〔質 疑 11:31～11:40〕

○山崎恵司委員長

下水整備課の説明に対する質疑をお願いする。

○山崎恒男委員

掛川・大東処理区は、33パーセントの減で大須賀地区は33%の増ということであるが、当初予算に比較して3分の1減額しなくてはならないのは、理由が国にあるものか、市の事情によるものか。

●栗田下水整備課長

国からの大幅な減額が示されたものである。

○山崎恒男委員

予算の配分は、掛川処理区域10分の5、大東処理区域10分の3、大須賀処理区域10分の2の予算配分であるとの説明理解をしたが、掛川区域は街路事業との整合をはかり、事業費の減額があったとするとその減額分を大東区域、大須賀区域にふりかえることができるのか。

●栗田下水整備課長

国からは、3処理区まとめたの補助金がある。それを市で事業割り当てをしているものである。

●廣畑環境経済部長

国から3割程度の減額内示があった。あわせて市内3処理区の事業費配分計画をし直した。減っている中で、掛川処理区については、上張の関係があり、そこを減らして昨年少なかった大須賀処理区に厚めに配分したということで、今回の補正となったものである。

○山崎恒男委員

国の配分が3分の1も減る事態というのは、今までに考えられない事態である。今の政権では、こういうことがありうるということを実感した。

●廣畑環境経済部長

委員のご意見のとおりで、国の予算がだんだんと減ってきたことから、先の見直しもそういうことを考慮して、全体的に延伸するという計画に変更させていただいたものである。

○栗原通泰委員

大震災の関係が背景にあり、国の補助金カットがあると思うが、掛川の下水道事業は従来の考え方を転換して、推進していく方向性を見極めは年度の中でできるのか。もう1年推移をみ

た中で判断をするのか。

●廣畑環境経済部長

震災の関係による先行きの不透明さはある。国の財政状況が厳しい中で、減る傾向を勘案して、事業計画を全体的に延伸するという方向の見直しをした。今後国の財政状況が良くなり、また市も単独事業費の予算措置ができるようになれば担当としては従前の計画に戻したいとの考えがあるが、現状では見直しした計画の方向性である。

○山崎恒男委員

他事業でも補助金の減額を考えねばならないという認識か。

●伊村副市長

現在来年度予算の編成中であるが、市長も行政報告で申し上げたとおり、来年度も税収入200億円程度と予測しており、国全体としても大きな動きがないという認識である。ついては公共事業全体としても抑制ぎみとなるだろう。県の話しでも、震災対策を除けば、積極的なものは見られないので、おそらく津波・地震対策を除くと他は期待できないと考える。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第107号については、全会一致にて原案とおりに可決

[11:41~11:42]

③議案第108号 平成23年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

〔下水整備課、説明 11:41~11:42〕

〔質 疑 11:42~11:42〕

○山崎恵司委員長

下水整備課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第108号については、全会一致にて原案とおりに可決

[11:44~11:46]

④議案第109号 平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第1号）について

〔下水整備課、説明 11:44~11:46〕

〔質 疑 11:46~11:46〕

○山崎恵司委員長

下水整備課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第109号については、全会一致にて原案とおり可決

[11:49~11:50]

⑤議案第121号 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市森の都ならこの里）

〔農林課、説明 11:49~11:50〕
〔質 疑 11:50~11:50〕

- 山崎恵司委員長
農林課の説明に対する質疑をお願いします。

なし

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第121号については、全会一致にて原案とおり可決

[11:51~11:59]

⑥議案第122号 公の施設の指定管理者の指定について（遠州南部とうもんの里総合案内所）

〔農林課、説明 11:51~11:54〕
〔質 疑 11:54~11:59〕

- 山崎恵司委員長
農林課の説明に対する質疑をお願いします。

- 内藤澄夫委員
とうもん以外に募集への参加者があったのか。

- 松本農林課長
募集を行った結果、名倉さんを代表とする1団体のみである。

- 内藤澄夫委員
今後の課題として、指定管理者の公募時に多数の参加があるよう市が施策を考えていくべきではないか。1者のみでは、その1者のプレゼンテーションが合格点に届かない場合困るのではないか。

- 伊村副市長
指定管理者が不合格であった場合は、市直営での実施しかないと考えます。今回、とうもんの里のプレゼンテーションは、とうもんの里らしいプレゼンテーションをしていただき、活動としても成功している例として全国にとうもんスタイルを普及していただいております。本件はうまくいっている例だと思っている。ただし、競争相手が出て、切磋琢磨して更に良い内容にしていくことは大事であるので、そこはしっかりしていきたい。

- 山崎恵司委員長
以上で質疑を終了する。

〔討 論〕
なし

[採 決]

議案第122号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:00～12:02]

⑦議案第123号 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市勤労者福祉会館）

[商業労政観光課、説明 12:00～12:02]

[質 疑 12:03～11:02]

○山崎恵司委員長

商業労政観光課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

[討 論]

なし

[採 決]

議案第123号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:03～12:05]

⑧議案第116号 掛川市都市公園条例の一部改正について

[都市整備課、説明 12:03～12:05]

[質 疑 12:05～12:05]

○山崎恵司委員長

都市整備課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

[討 論]

なし

[採 決]

議案第116号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:06～12:08]

⑨議案第124号 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市自転車等駐車場）

[都市施策課、説明 12:06～12:07]

[質 疑 12:07～12:08]

○山崎恵司委員長

都市政策課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第124号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:08~12:12]

⑩議案第125号 公の施設の指定管理者の指定について（掛川市駅周辺駐車場）

〔都市政策課、説明 12:08~12:11〕

〔質 疑 12:11~12:12〕

○山崎恵司委員長

都市政策課の説明に対する質疑をお願いする。

○鈴木正治委員

駅北駐車場は、60分年末年始無料と思うが、該当か。

●原田都市政策課長

市の駐車場は、該当ではありません。

●新堀都市整備課長

今回の60分無料駐車場については、4箇所あり、ジャスコ跡地まんまえパーキング、ユニー跡地駐車場、連雀パーキング、中町パーキングである。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第125号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:12~12:13]

⑪議案第126号 公の施設の指定管理者の指定について（掛川大手門駐車場）

〔都市政策課、説明 12:12~12:13〕

〔質 疑 12:13~12:13〕

○山崎恵司委員長

都市政策課の説明に対する質疑をお願いする。

なし

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第126号については、全会一致にて原案とおり可決

[12:14~12:36]

⑫議陳情第2号 陳情3号

○山崎恵司委員長

資料について、説明をお願いする

〔廣畑環境経済部長 説明 12:14~12:25〕

〔意 見 12:25~12:36〕

○山崎恵司委員長

TPP交渉参加反対の意見書採択に関する要請に対する意見をお願いします。

○内藤澄夫委員

政府等からのTPPに関する情報がわからない。不明瞭、情報不足で陳情を軽々に採択してしまっていて良いのかわからない。

○山崎恵司委員長

TPP交渉参加反対の意見書が出ているが、委員ひとり一人の考え方ををお願いします。

○榛葉正樹委員

交渉に参加すると思っている。中止することを掛川市議会として意思表示することは如何なものか。採択はできないという意見である。

○栗原通泰委員

国の方針が交渉参加の検討ということであるが、各国の意見を聴いてみないと日本の態度がわからないということで、方向性が明確に国民に示された段階で、何がメリットか、何がデメリットかの判断が示された時、議会は議会として対応をするべきと思っています。今は時期早々と考えている。

○加藤一司委員

TPPは難しい問題である。農業関係が心をいためること、そして工業関係各立場の意見はわかる。野田首相はTPPに参加すると言われているわけだが、民主党内でも賛成、反対がわかれている状況である。もう少し国の情勢をみて、継続審査とし、3月の定例会まで様子を見ることで良いと考える。

○山崎恒男委員

判断をしかねる国内の状況である。議会としてももう少し議論に時間をかけたい、今回は継続審査とすることでどうかと思う。

○鈴木正治委員

商工会議所の話しでは、市内事業所の数は、全体で400箇所ほど、従業員数は2万人ほど、おそらくこの人たちにとっては、TPPに賛成の方が多いと考える。一方農業関係者になると日本の農業、畜産に打撃が大きいと思われるので、日本の将来の農業ビジョンが示されないと日本の文化も壊れてしまう懸念があるので、慎重な判断が必要と思う。

○山本行男副委員長

農協さんの陳情については、賛成しても良いと思っている。

○山崎恵司委員長

現状では、継続審査というかたちをとらざるをえないと考える

〔挙手による採決〕

〔継続審査とすることに賛成多数〕

4) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 12項目

閉会中継続調査申し出事項 12項目で了承

5) その他

○山崎恒男委員

TPPの問題は、委員会だけでなく、掛川市議会全体で議論する必要があるのではないかとと思うが如何か。

○内藤澄夫委員

TPPに対しての勉強会を議会で実施するのは良い。付託をされた陳情に対する審査は環境産業委員会を実施しなければならない。

○山崎恒男委員

TPPに関する勉強会の実施をお願いしたい。

以上で環境産業委員会を終了する。

6) 閉会 11 : 42